

2015年度

フランス語 海外研修

募集要項

期 間 <予定>

2015年8月2日(日)~9月1日(火)

場 所

フランシュ・コンテ大学
応用言語センター (C.L.A.)
フランス フランシュ・コンテ地方

夏季フランス語海外研修は、本学とフランシュ・コンテ大学との協定によって実施するものであり、外国人のための外国語研修プログラムとして着実な実績をあげているプログラムに参加します。このプログラムの集中した授業により、フランス語運用能力の飛躍的な向上が図れるとともに、学生寮での生活体験を通してフランス語の応用と実践を学習することも期待できます。

2014年度参加者の感想

社会学部 2年 外西若菜

私はこの研修に参加したことで、フランス語能力以外の面でも多くのものを得ることができました。フランスに着いてすぐの頃は、周りの人に比べてきき取りがうまくできない自分に落ち込むこともありましたが、次第に色々な人と色々な話をするのが楽しくなり、その頃からフランス語能力の伸びが早くなったと思います。また、研修を通して、何かを学ぶことに対する積極性を身につけることができたため、日本に帰国してからも様々なことに対して積極的に取り組むことができています。

一緒に研修に行ったメンバーと仲良くなることができたこともとても嬉しかったです。soiréeでの発表などを経て、このメンバーで研修を過ごすことができ本当に良かったと感じました。このような機会を得て充実した研修を終え、無事に日本に帰ってこられたことを幸運に感じています。

社会学部 2年 齋藤真衣

今回、このフランス語海外研修に参加して、自信を持ってフランス語を話すことができるようになりました。発音が正しいかも分からず、使うことのできる単語も少ないですが、一生懸命相手に伝えていくことを積み重ねていくうちに、いつの間にか臆することなくフランス語で相手に話しかけることができるようになりました。これは、この留学を経験しなければ、絶対に身につくことのない貴重な経験だと思います。また、フランス語を学ぶ他の国の学生と、フランス語を通じて意思疎通ができることに感動し、改めてグローバル化と、また言語という力の素晴らしさを実感し、これからも色々な国の人と交流するために英語のみならずフランス語をより一層勉強していきたいと、また強く思うことができました。

★ブザンソン市 (フランシュ・コンテ地方)

フランシュ・コンテ地方は、フランスの南東部に位置する風光明媚な地方で、ジュラ山脈の麓にあり、スイスと国境を接しています。スタンダールの『赤と黒』の舞台はこの地方です。その中心がブザンソン市であり、フランシュ・コンテ大学はこの都市にあります。ドゥー川が大きく屈曲するところに位置する人口約12万人の落ち着いた雰囲気のある地方都市で、パリからTGV(新幹線)でわずか2時間半です。ブザンソンの美術館にはルネッサンス期の傑作が所蔵されています。また、指揮者の小沢征爾が国際指揮者コンクールで優勝し、世界的指揮者としての第1歩を踏み出した地でもあります。夏は大変涼しく研修には最適です。

★フランシュ・コンテ大学 応用言語センター (C.L.A)

応用言語センターは1958年に創設され、現在は世界100カ国から年間4,000人を越す研修生がここで研修しており、国際色豊かなキャンパスとなっています。専任教員70名のうち約3分の2は外国人に対するフランス語教育を専門とした教員であり、優れた教員が少人数クラスで集中したレッスンを行うフランス有数の言語教育機関のひとつとして知られています。

関西学院大学
教務機構 言語教育研究センター■

フランス語海外研修 募集要項

1 参加資格

参加資格：言語教育科目のフランス語を履修していることが望ましい。

※重複履修可。

ただし、応募者が多い場合、2回目以降の参加者については、希望に沿うことができない可能性がある。

定 員：25名

2 実施大学

フランシュ・コンテ大学応用言語センター (C.L.A.)
フランス フランシュ・コンテ地方 ブザンソン市

3 実施時期 <予定>

2015年8月2日(日)～9月1日(火)

注1)このプログラムは国際情勢の変動などにより、本学の判断で中止またはスケジュール変更をすることがある。

注2)参加決定者は2015年度春学期定期試験の追試験を受験できない。(プログラム実施期間と重複するため)

4 参加費

45万円

<渡航費・受講料・宿泊費・保険料。食費は含まない。>

注)為替レートの変動等やむを得ない事情により、追加徴収することがある。

5 授業時間

1日5時間で1週間に20～25時間×約4週間

*聞く、話す、読む、書くことを中心に授業が行われる。レベルは初級から上級まで用意されているので、各人のレベルにあったクラスに入って授業を受けることができる。

*カセットやビデオを使った授業もあり、「映画」「演劇」のほか現代フランスの社会と文化をテーマにした授業も行われる。

6 単位認定

実施大学が発行する成績に基づき、帰国後、参加者が所属学部単位認定願を提出することにより、単位認定を行うことが可能である。

7 宿舎

大学が提供している寮を利用する。

8 募集説明会

日時：2014年11月13日(木) 12:50～13:20

11月19日(水) 12:50～13:20

場所：西宮上ヶ原キャンパスG号館221号教室

*2回の説明会の内容は同じ

9 申込・選考・合格発表

申込：**2014年11月24日(月)～12月5日(金)**

16:50締切 教務機構 言語教育研究センター
(総合政策・理工学部生は所属学部でも申込可能)

*フランス語中期留学にも申し込みを希望する者は、別途、国際教育・協力センターにて手続きを行うこと。

選考：**2015年1月10日(土) 9:00～**

申込者全員に対して筆記試験を実施する。筆記試験合格者のみを対象として、午後から面接を行う(申込書に記入した志望動機に基づき、原則的にフランス語で行う)。

合格発表：**2015年1月21日(水) 9:00**

教学 web お知らせにて発表。

10 参加費の納入

申込金：50,000円

2015年2月13日(金)15:00納入締切

残 金：400,000円

2015年3月20日(金)15:00納入締切

11 事前研修・結団式 <予定>

打合会 2015年1月29日(木) 10:00～

第1回 2015年4月11日(土) 10:00～

第2回 2015年5月16日(土) 10:00～

第3回 2015年6月20日(土) 10:00～

結団式 2015年7月4日(土) 10:00～

注)参加者は、出発までに行われる事前研修および結団式に必ず出席すること。

12 旅行保険

言語教育研究センターで海外旅行保険に加入する。

ご参考) 昨年度加入した保険の補償項目は以下の通りです。

傷害死亡/傷害後遺障害/治療・救済費用/個人賠償責任/携行品損害/
航空機寄託手荷物遅延費用/航空機遅延

13 注意事項

参加取り消しの場合、次のように取り消し料金を徴収する。

4月10日(金)までに取り消しの場合 …… 50,000円

5月29日(金)までに取り消しの場合 …… 400,000円

出発の前日までに取り消しの場合 …… 全 額

スケジュール <予定>

8月 2日(日)	関空～パリ～ブザンソン
8月 3日(月) ～8月28日(金)	授業
8月29日(土)	ブザンソン～パリ<泊>
8月30日(日)	パリ<泊>
8月31日(月)	パリ～関空
9月 1日(火)	関空着

*最初と最後の1週間は本学教員(フランス語担当)がそれぞれ引率する。